

むらやま・木育プログラム 作り方マニュアル

4 お守り(おまもり)



対象： 幼児～

危険度	1	鋸を使う作業は大人の注意が必要 幼児のみの場合は紙やすりのみ使用	90 分
難易度	1	幼児が大人と一緒に取り組む場合は、玄能や手動ドリルは大人が担当する	

◆ 材 料

丸太、木片、塗装用油（アマニ油、えごま油 等）ビーズ、ひも



◆ 道 具

木工用ノコギリ（横引き、粗目）、丸太切り台、^{げんのう}玄能、ドリル（ドリル刃…5.0mm）、
ドリル受木、紙やすり（#150、240）、油を入れる器、筆、キッチンペーパー



◆ 作り方

- ① 丸太をカットします。



直径10cm以上の丸太を
子どもがひとりで切るのは
大変です。
交代しながら切るか、大人と
一緒に切ってみましょう。

厚さはお好みですが、
2cmくらいが、割りやすい
でしょう。

- ② 輪切りを、^{げんのう}玄能で割る。

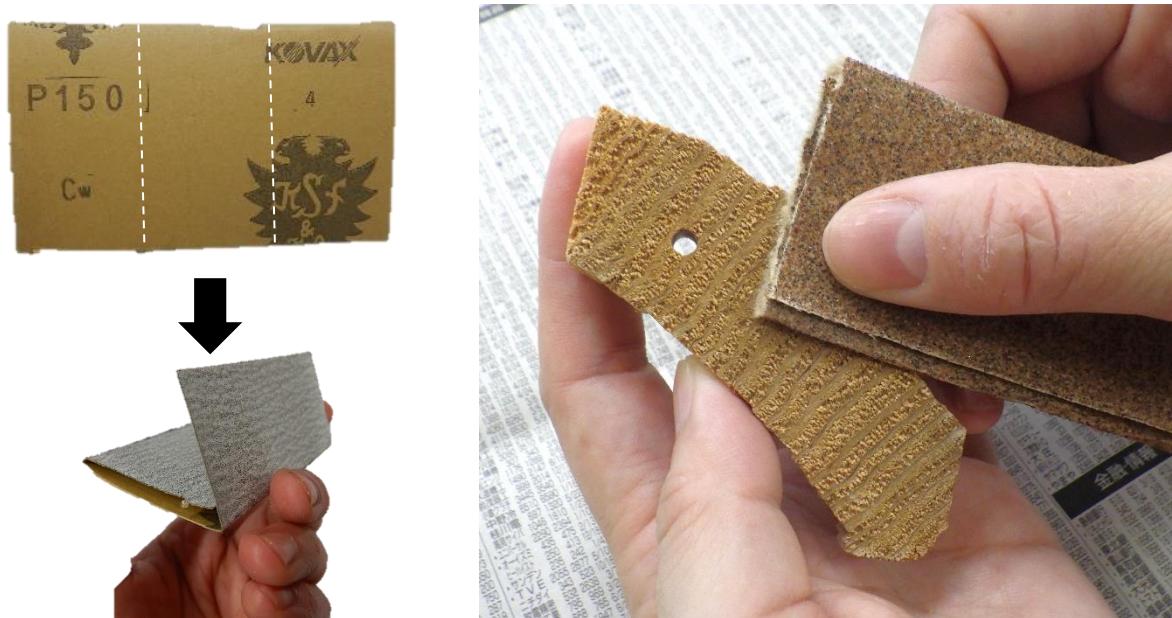


子どもの力で割れない場合は大人が割りましょう。
子どもたちは、
興味津々で見ています。

- ③ ドリルで欠片に穴を開ける。



- ④ 紙やすり（#150）でかけらの表面を磨く。紙やすりを写真のように3等分に折りたたむ。やすり同士のザラザラで固定され、使いやすくなる。



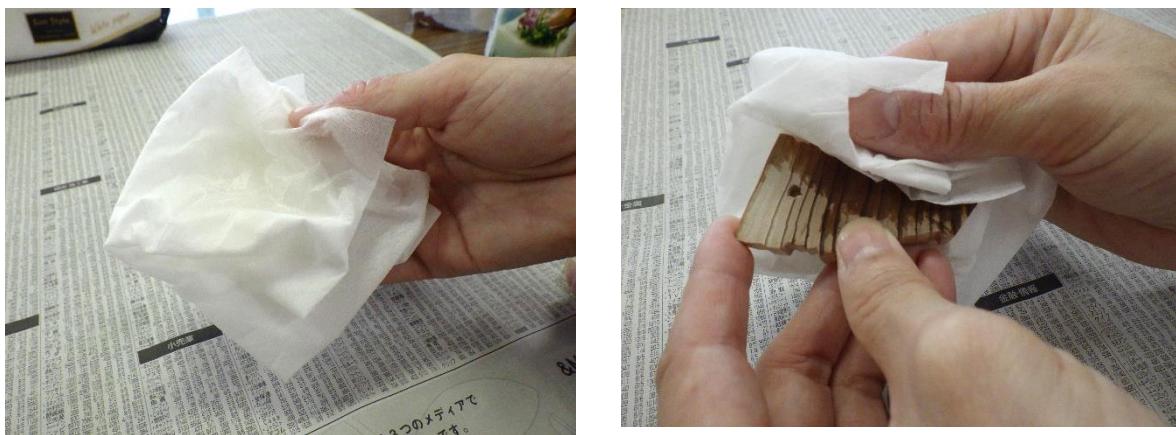
★幼児だけの作業の場合は、ここから始めます。
用意された木片の中から好きな形を選びます。

「友だちが沢山できますように」、「〇〇が上手になれますように…」など、願いを込めて紙やすりで丁寧に磨いていきます。

⑤ 表面の凹凸がなくなったら、#240のやすりで仕上げます。



⑥ キッチンペーパーにオイルを染みこませて木片に塗りこみます。



⑦ 色の濃淡がはっきりし、表面は光り、きれいな年輪が見えるようになります。



⑧ ひもとビーズを通して完成です。



完 成！



②③④

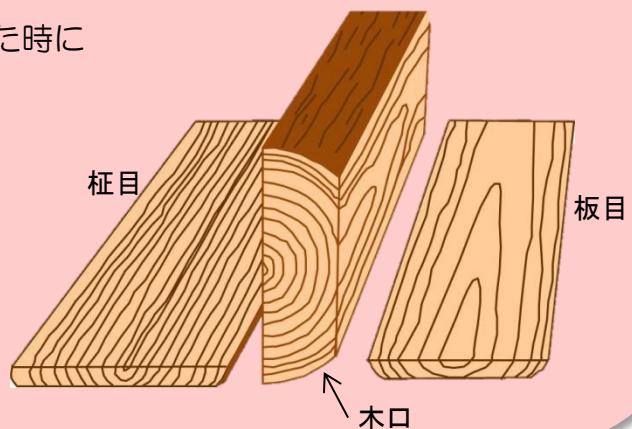
『木のお菓子』 バウムクーヘンで学ぼう！

バウムクーヘンとは、ドイツ語で[木のお菓子]という意味です。その名の通り、まるで木の丸太のような形をしています。生地を焼き上げながら年輪を重ねていく様子も、木が成長する様子とそっくりです。



カットの仕方で、木目の種類（まさめ、いため、こぐち）を覚えてみましょう。

- ① 木の中心から放射方向にナイフを入れた時に出るのが、柾目（まさめ）
- ② 木の中心を通らずにナイフを入れると板目（いため）
- ③ バウムクーヘンをそのまま真上からみるのが、木口（こぐち）





MEMO



【編集・発行】 令和7年12月
山形県村山総合支庁産業経済部 森林整備課森づくり推進室
〒990-2492
山形県山形市鉄砲町二丁目19番68号
【問合せ先】
森づくり担当：TEL 023-621-8156・8248

やまがた緑環境憲章

— 県民みんなで支える新たな森づくり —

私たちは、

- 1 ^く暮らしや環境を守るため、豊かな森づくりを進めます。
- 2 森や木の文化を見つめ直し、暮らしの中に木を活かします。
- 3 一人一人の力を活かし、森づくりの和を広げます。
- 4 森や自然の大切さを学び、やまがた森林と緑の推進機構の ^{きずな}絆を深めます。
- 5 みんなで森づくりを支え、かけがえのない森を未来に贈ります。



「やまがた緑環境税」を活用しています